

令和4年度第2回
横浜市バスネットワーク会議
議事録

令和5年3月23日

議事録要旨

令和4年度第2回横浜市バスネットワーク会議	
日時	令和5年3月23日(木) 15時30分から17時00分まで
場所	横浜市研修センター 4階 (401-403)
開催形態	対面会議
案件	青葉区・戸塚区における取組について
議事	<p style="text-align: center;">【青葉区における取組について】</p> <p>【参加員】</p> <p>日体大での乗継ぎを前提とされているが、日体大が整備する待合施設の仕様を教えてください。また、乗継割引が適用される条件はあるか。</p> <p>【事務局・運行事業者】</p> <p>待合施設は、トイレ、冷暖房付きのもので調整を進めている。</p> <p>乗継割引は、ICカードでの支払い、90分以内の乗継に適用することを考えている。</p> <p>【参加員】</p> <p>青56系統の再編案については、A案、B案で拮抗しているが、買い物目的という意見が多いとのことなので、スーパーを経由するなど、生活路線としての視点を含めて検討してほしい。</p> <p>【事務局】</p> <p>令和5年5月頃から、地域と調整する機会を3回程度設ける予定。</p> <p>その中で、地域の意見等を確認する。</p> <p>【参加員】</p> <p>この地域は高齢者が多いので、日体大内での乗継（バスの乗降場所、待合場所）について地域と確認してほしい。</p> <p>また、自転車の走行環境整備を踏まえた、バスベイでのバスの待ち方、停留所の設置の仕方、周知の方法など、引き続き皆様と協議したい。</p> <p>【運行事業者】</p> <p>極力、待たずに乗り継げるダイヤを組みたいと考えている。</p> <p>高齢者など、待合施設で休憩されたい方の導線等は、今後検討する。</p> <p>【事務局】</p> <p>自転車の走行環境については、青葉警察署と協議し、B区間は車道内を通る運用となった。</p> <p>歩道でバスを待っている方の横を自転車が通ることはなくなる。</p> <p>しかし、自転車が車道を通れば安全というわけではないので、バスの待ち方、自転車の通行の仕方については、広報よこはまなども活用し周知していく。</p> <p>【座長】</p> <p>乗り継ぎ施設内での人の導線について、神奈川県内だと、神奈川中央交通さんの事例（湘南台～慶応の乗継施設）は、設計が丁寧に行われている。先行事例を参考にし、日体大と連携して、良いものにしてほしい。</p> <p>自転車の走行環境整備については、①横浜市が自転車利用者に示している方向性、②他都市の連節バスが導入されている場所で、自転車にどのような対応を求めているか、③連節バスではないが、バス停付近で自転車走行環境を工夫している事例（三鷹市、江東区）などを参考に警察、道路管理者、バス事業者で勉強してほしい。</p>

バスを下りるときに、自転車がぶつかってしまうこともあるので、先行事例をうまく取り入れてほしい。

【戸塚区における取組について】

【参加員】

今年度から、地域への説明は進めていただいているが、来年度は工事も始まるため、より丁寧に地域への説明を進めてほしい。

【座長】

連節バスの乗降方法は、戸塚バスセンター行きのみ「申告先払い方式（前乗り）」として、利用者の混乱を招かないか。

【運行事業者】

連節バスは、乗客も多くなり、戸塚駅で一気に降車されることを考え、「申告先払い方式（前乗り）」を採用した。通常の車両と、車体の形、色も違うので、大きな混乱は招かないと考えている。

辻堂での連節バス導入事例においても、駅に向かう方面のみ「申告先払い方式（前乗り）」を採用しているが、駅ですぐ降りられることをメリットと捉え、連節バスを選んで乗車する方がいるくらい浸透してきている。地域へは、丁寧に広報、周知していく。

【座長】

辻堂の事例で、定常的な混乱は起きていないのか。

【運行事業者】

大きな混乱はない。

【参加員】

連節バスの導入台数は何台か。バスの運行頻度はどのように変化するのか。

【運行事業者】

連節バスは6台導入予定。

原宿、戸塚バスセンター間の、朝の時間帯で、20便/時間が17便/時間になるくらいの変更を想定している。輸送力は、現状維持か、少し増える。

【座長】

17便/時間の内何便が連節バスになるのか。

【運行事業者】

まだシミュレーションしている段階で便数は決まっていない。

【その他】

【座長】

交通政策審議会で議論する中で、国の制度が変わり、まちづくりにおける交付金の中に、公共交通にかかる予算も対象となった。そういった流れの中で、地域公共交通会議ももっと大事にしようという議論もされた。特殊な事例の認可のために活用することが多いが、本来的には公共交通を担う方々が集う場なので、情報共有、意見交換する場として機能させる必要がある。本日議論した青葉区、戸塚区の案件も地域公共交通会議で情報共有していただきたいと考えている。

以上